

令和8年度

指定管理者による公の施設の管理状況に対する評価表

富山市

評価対象施設一覧

No.	施設名	施設所管課	現指定管理者	ページ
1	芸術文化ホール	文化国際課	公益財団法人富山市民文化事業団	1
2	大沢野健康福祉センター／ 大沢野老人福祉センター	福祉政策課／ 長寿福祉課	一般財団法人富山市大沢野健康文化 推進財団	6
3	富山市・医師会急患センター	福祉政策課	公益社団法人富山市医師会	17
4	岩稲ふれあいセンター	観光政策課	株式会社ほそいり	22
5	とやまスローライフ市民農園	農政企画課	NPO法人里山倶楽部	27
6	八尾ゆめの森交流施設	農林事務所農業 振興課	株式会社八尾サービス	33
7	割山森林公園	農林事務所農地 林務課	株式会社ほそいり	39
8	城址公園／ 城址公園駐車場	公園緑地課／ 管財課	富山城址公園パークマネジメント共 同企業体	44
9	くれは山荘	公園緑地課	NPO法人きんたろう倶楽部	51

令和8年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	芸術文化ホール		
所管課	文化国際課		
指定管理始期／終期	令和5年4月	～	令和9年3月
指定管理期間	4年		
公募／非公募	非公募		
指定管理者名	(公財)富山市民文化事業団		
料金区分	使用料制		
施設の設置目的 (条例の設置目的)	市民の芸術文化の創造及び振興に寄与するため、富山市芸術文化ホールを設置する。		

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
利用者数	129,229	174,257	189,056	170,259	42,241	(人)
開館日数	223	239	239	276	276	(日)

料金収入

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
収入額	46,225	54,089	70,865	43,996	18,637	(千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

令和5年度以降コロナ禍の収束により利用者が増えた。加えて、令和5年7月に中ホールが開館したことで、利用者数は大きく増加した。一方で、令和7年度には11月から大ホールの改修工事に伴い休館したことから、利用者数は減少した。

4 収入の増加(減少)の理由

令和5年度以降コロナ禍の収束により使用料が増えた。加えて、令和5年7月に中ホールが開館したことで、使用料は大きく増加した。一方で、令和7年度には11月から大ホールの改修工事に伴い休館したことから、使用料は減少した。

5 評価項目

(1) サービス向上に向けた取組み

ホームページ上で予約状況を公開しており、また仮予約も可能である。また舞台装置の利用や点検に当たっては、当事業団舞台技術に精通した技術職員によって行うことができるなど、経験が多く熟練した職員を配置、派遣することにより、利用者に対するサービスの向上が図られている。

(2)利用促進に向けた取組み

情報誌のあり方を見直し、ホームページやSNSに力を入れて広報活動を行う方法にシフトしている。またラジオ番組や広告を媒体として周知し、公演の集客促進に努めている。

(3)利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

各種公演においてアンケートを実施しており、集計結果を取りまとめて、入場者の声を把握するとともに年代や居住地、満足度を分析し、事業計画に役立てている。

(4)関係団体等との連携

財団の理事・評議員は経営者や大学教授、文化団体の代表者等から構成され、産学官から幅広い意見を聴取し運営を行っており、多様な視点から、本市の文化振興に寄与する事業の積極的な推進に努めている。

(5)施設・設備の維持管理

保安・清掃・各設備の保守点検など、年間を通して適切に管理が行われている。中ホールにおいては、ホール案内や受付など、一部を除きSPCが維持管理を行い、市や指定管理者と連携する体制を備えている。

(6)個人情報保護の取組み

個人情報の保護に関する取扱い仕様書に基づき、適切な管理が行われているものと認める。

(7)危機管理・安全管理等の取組み

消防訓練フローや急病・けが人応急体制について整備しており、また夜間の機械警備の体制や関係団体を包括した緊急連絡網が作成されている。

(8)所管課の管理運営確認状況

- ア 管理業務報告書等の受理
- イ 市担当職員による現地確認
- ウ 個人情報に関するトラブルの有無
- エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

実施の有無	過去3年間の実績
有	36件
有	72件
無	無
無	無

【その他トラブルの具体的内容と対応】

特になし

(9)今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

特に中ホールの音楽鑑賞室やウォーミングアップ室などホール以外の諸室における利用件数は少ないため、貸館利用の促進に注力する必要がある。

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1)指定管理者の収支

①事業計画(指定申請書等提出時点)

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入 委託料		365,213	475,266	484,902	484,878	484,878
補助金 (人件費)		184,578	196,195	198,007	199,201	200,535
利用料金		0	0	0	0	0
その他		201	498	498	498	498
合計		549,992	671,959	683,407	684,577	685,911

歳出 人件費		184,578	196,195	198,007	199,201	200,535
管理費		365,414	475,764	485,400	485,376	485,376
その他		0	0	0	0	0
合計		549,992	671,959	683,407	684,577	685,911

収支		0	0	0	0	0
----	--	---	---	---	---	---

②実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入 委託料		386,832	538,170	558,752	495,701	420,472
補助金 (人件費)		181,178	193,541	209,942	201,188	203,189
利用料金		0	0	0	0	0
その他		677	709	1,420	1,129	384
合計		568,687	732,420	770,114	698,018	624,045

歳出 人件費		181,178	193,541	209,942	201,188	203,189
管理費		368,705	485,090	491,849	454,629	420,856
その他		0	0	0	0	0
合計		549,883	678,631	701,791	655,817	624,045

収支	0	18,804	53,789	68,323	42,201	0
----	---	--------	--------	--------	--------	---

③事業計画と実績の収支の差

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
①事業計画の収支	0	0	0	0	0
②実績の収支	18,804	53,789	68,323	42,201	0
差(②-①)	18,804	53,789	68,323	42,201	0

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

計画通り、履行されている。

(2)市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	使用料	46,225	54,089	70,865	43,996	18,637
	その他	3,777,000	38,800	225,900	784,300	6,729,300
	委託料 精算等	18,804	-	-	-	183,117
	合計	3,842,029	92,889	296,765	828,296	6,931,054

歳出	委託料	386,832	538,170	558,752	495,701	420,472
	補助金 (人件費)	181,178	193,541	209,942	201,188	203,189
	修繕費	4,220,925	83,996	377,204	854,700	7,044,389
	その他	-	-	-	-	-
	合計	4,788,935	815,707	1,145,898	1,551,589	7,668,050

収支 0 **-946,906** **-722,818** **-849,133** **-723,293** **-736,996**

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

令和7年度中から大ホールの大規模改修により休館となった影響で、歳入が減ったものの、使用料収入は増加傾向にある。歳出に関しては、人件費や物価の高騰が大きく増加している。

7 自主事業の実施状況

(1)指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 →

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

実施の有無 →

実施しなかった場合、その理由

事業②

事業内容

実施の有無 →

実施しなかった場合、その理由

(2)指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)で記載した事業は除く。

事業①

事業内容

特になし

事業②

事業内容

特になし

(3)自主事業の収支状況

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入					
	その他				
	合計	0	0	0	0
歳出					
	その他				
	合計	0	0	0	0
収支	0	0	0	0	0

(4)自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

令和8年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	富山市大沢野健康福祉センター		
所管課	福祉政策課		
指定管理始期／終期	令和6年4月1日	～	令和9年3月31日
指定管理期間	3年		
公募／非公募	非公募		
指定管理者名	(一財)富山市大沢野健康文化推進財団		
料金区分	利用料金制		
施設の設置目的 (条例の設置目的)	市民の健康増進と福祉活動の機会と場所を提供し、市民の健康意識の高揚及び福祉向上に資するため。		

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
利用者数	243,003	274,616	244,597	281,024	290,000	(人)
開館日数	339	340	321	339	339	(日)

料金収入

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
収入額	99,447	111,813	98,701	121,069	122,000	(千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

R6年度は、施設修繕及び設備更新工事に伴い3ヶ月間一部施設を休業したため、利用者が減少したものの、全体的には、コロナ禍後の順調な回復や市民の健康と運動に対する関心の高まりにより増加している。
また、新規会員募集キャンペーンやビジター割引などの取組により、会員数・利用者数ともに増加した。

4 収入の増加(減少)の理由

利用者数の増加による増に加え、令和7年度から入浴料金及び法人利用料の引き上げにより増加した。

5 評価項目

(1) サービス向上に向けた取組み

- ① 利用者のニーズに合わせた健康づくり教室やレッスンを開催
- ② 歳時・季節ごとのイベント実施(替わり湯、夏休みイベント他)
- ③ 夏休み期間の土・日曜日及びお盆の開館時間を30分繰上げ営業(混雑の緩和)

(2) 利用促進に向けた取組み

- ①毎週日曜日のプール利用で保護者同伴の小学生以下半額割引制度を導入
- ②プール利用のビジターを対象に、10回利用して1回無料にするスタンプカードを導入
- ③ビジターのリピートのため、7・8月のビジターに9月以降利用できる割引券を配布
- ④LINEの開設、スマートフォン用のホームページを制作し、施設の情報を発信
- ⑤TV 取材による施設のPR
- ⑥イベント情報や健康教室などの年間カレンダーを配布
- ⑦新規会員の増員を図るため、会員紹介特典や1ヵ月無料体験等のキャンペーンを実施
- ⑧交通弱者のための無料巡回バスを運行
- ⑨無料団体送迎を実施
- ⑩ロビーラウンジを市民展示コーナーや芸術文化の発表の場として開放
- ⑪託児サービスの開始・拡充
- ⑫高齢者を対象としたフレイル予防のための「いきいき健康教室」を開催
- ⑬富山市と連携し、パワリハ教室を開催
- ⑭保健福祉センターとの連携事業「血管若返り教室」を実施
- ⑮トレーニングスタジオ・プールにて、足腰元気体操など各種参加費無料レッスンを開催

(3) 利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

「お客様の声」としてアンケート箱を設置し、利用者の意見・要望及び苦情を聞き、回答を公表しサービスに反映させている。回答に当たっては、サブマネージャーを中心とした随時の協議のほか、マネージャーや理事長を加えた会議等で改善・早期解決に努めている。
また、定期的な人材育成のための職員教育・研修(接遇研修、救急法等)を実施している。

(4) 関係団体等との連携

老人クラブ、スポーツ協会、母子保健推進員、地区社協、南商工会の代表者から意見や要望を伺っているほか、イベントや事業への参加を呼びかけている。

(5) 施設・設備の維持管理

- ①利用者に安全かつ安心して利用いただくため、専門技術者による施設・設備の毎日の巡回点検や燃料等の使用量を記録することで、トラブルの予防・早期発見などに努めている。
- ②冬期間において、プール、バーデの保温シートによる重油使用量の抑制に努めている。
- ③源泉熱を利用した熱交換器導入による重油使用量の削減に努めている。
- ④徹底したデマンド管理及び全館の節電に努めている。
- ⑤井水使用による上水道使用量の抑制に努めている。
- ⑥LED球による省エネ対策を実施している。
- ⑦長期修繕計画に基づき熱源装置の更新など市と協議のうえ計画的に修繕を実施している。

(6) 個人情報保護の取組み

- ①関係法令及び市条例等を順守し、財団の基本方針及び取扱マニュアル並びに管理業務仕様書に基づき取組を行っている。
- ②業務に関する個人情報の範囲及び留意事項を指示するマニュアルを作成し、定例会等で周知徹底を図るとともに、日常業務の中で必要に応じた指導を行っている。
- ③個人情報の記載のある書類等については、複写あるいは外部へ提供、若しくは持ち出しを禁止している。また、パソコンやファクシミリ等の通信回線による送信を禁止している。
- ④個人情報に記載されている書類等の廃棄は、裁断処理又は専門処理業者に委託し確実に処分している。
- ⑤個人情報の保護に対する基本方針をホームページで公表している。

(7)危機管理・安全管理等の取組み

- ①事故や災害時に備えて、財団職員及び施設管理委託スタッフを含めて毎年救命講習を受講している。
- ②館内利用者にも視認しやすい位置にAEDを設置し、緊急時にも対応可能な状態としている。
- ③ヒートショックの予防として、冬季に館内放送にて注意喚起している。
- ④火災訓練として消火訓練・避難誘導訓練を実施し、職員全員が緊急時に備えている。
- ⑤事故が発生した場合の迅速な被害者の救護、保護などの応急処置のため、状況に応じて関係機関に連絡を取り、対処を行えるよう緊急時対応マニュアルを作成し、管理・連絡体制を構築している。
- ⑥温泉、浴槽、プール等の水質管理の徹底を図るため、法令に基づきレジオネラ菌などの検査を定期的に行い、適正な衛生管理体制を整えている。
- ⑦プール監視員は常時2名以上、状況に応じて必要な人数を配置し、安全な管理体制に努めている。
- ⑧スタッフ全員が、日常から安全・防犯・防災意識を高めるよう指導している。

(8)所管課の管理運営確認状況

- ア 管理業務報告書等の受理
- イ 市担当職員による現地確認
- ウ 個人情報に関するトラブルの有無
- エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

実施の有無	過去3年間の実績
有	36
有	随時
無	無
無	無

【その他トラブルの具体的内容と対応】

- ・R6.1.1に発生した能登半島地震の際は、利用者(約200人)の安全確認後、営業を取り止める措置をとった。
- ・R6年度に利用者間で発生したトラブルについて、速やかに市及び関係機関と協議し、対処した。

(9)今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

- ・老朽化している施設・設備を安全かつ安定的に維持管理し運営していくため、予防的・長寿命化の観点も含め、中長期計画に基づき修繕等を行っていく。
- ・利用料金全般について、適正な受益者負担と受容水準を考慮して見直し(引き上げ)、収入増を図る。

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1)指定管理者の収支

①事業計画(指定申請書等提出時点)

		制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	委託料		72,026	72,797	98,927	98,827	98,727
	補助金 (人件費)		39,655	40,396	82,957	84,090	84,834
	利用料金		127,902	127,902	109,417	110,417	111,417
	合計		239,583	241,095	291,301	293,334	294,978

歳出	人件費		85,324	87,125	82,957	84,090	84,834
	管理費		154,259	153,970	208,344	209,244	210,144
	その他		0	0	0	0	0
	合計		239,583	241,095	291,301	293,334	294,978

収支		0	0	0	0	0
----	--	---	---	---	---	---

②実績

		制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	委託料		80,600	80,367	84,204	76,267	78,316
	補助金 (人件費)		40,327	41,391	87,801	96,593	104,606
	利用料金		112,068	122,415	109,993	133,389	133,389
	合計		232,995	244,173	281,998	306,249	316,311

歳出	人件費		79,031	76,117	87,815	96,593	104,606
	管理費		154,447	168,875	195,709	209,385	221,266
	その他		0	0	0	0	0
	合計		233,478	244,992	283,524	305,978	325,872

収支	0	-483	-819	-1,526	271	-9,561
----	---	------	------	--------	-----	--------

③事業計画と実績の収支の差

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
①事業計画の収支	0	0	0	0	0
②実績の収支	-483	-819	-1,526	271	-9,561
差(②-①)	-483	-819	-1,526	271	-9,561

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

- ・R4～6までは赤字となっているが、財団全体では黒字になっている。
- ・令和8年度見込は、重油価格の高騰や電気料金の上昇により大幅な赤字が見込まれる。

(2)市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	使用料					
	その他					
	委託料 精算等					
	合計		0	0	0	0

歳出	委託料	80,600	80,367	84,204	76,267	78,316
	補助金 (人件費)	40,327	41,391	87,801	96,593	104,606
	修繕費					
	その他					
	合計	120,927	121,758	172,005	172,860	182,922

収支 0 **-120,927 -121,758 -172,005 -172,860 -182,922**

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

・令和6年度から、歳出にかかる面積按分を健康福祉センター71%⇒90%、老人福祉センター29%⇒10%に変更した。
 ・令和6年度は、施設改修工事に伴う一部施設の休業補償として委託料が増加した。
 ・燃料費・光熱水費の高騰に加え人件費の上昇が、収支に大きな影響を及ぼしている。

7 自主事業の実施状況

(1)指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 → 有

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

売店及び自動販売機の設置

実施の有無 → 有

実施しなかった場合、その理由

事業②

事業内容

健康づくり普及事業の実施

実施の有無

→

有

実施しなかった場合、その理由

(2)指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)に記載した事業は除く。

事業①

事業内容

事業②

事業内容

(3)自主事業の収支状況

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	自販機売上手数料	1142	1123	1915	2249
	フレイル予防			2530	2704
	パワリハ教室			657	657
	その他	279	1125	5072	6254
	合計	1421	2248	10174	11864
歳出	電気料金	265	279	124	134
	行政財産 使用料	37	35	175	148
	フレイル 予防他	338	262	1629	1443
	その他			1297	1819
	合計	640	576	3225	3544
収支	781	1672	6949	8320	8149

(4)自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

・R4～R5の自動販売機売上手数料は公園・スポーツ施設(R6以降は指定管理施設に含まれていない)に設置した自動販売機の売上手数料。
 ・R6以降は、フレイル予防教室・パワリハ教室及び自動販売機売上・売店売上等を計上。
 ・健康増進施設として、フレイル予防・健康づくり事業等は維持・拡充を図っていく必要がある。

令和8年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	富山市大沢野老人福祉センター		
所管課	長寿福祉課		
指定管理始期／終期	令和6年4月1日	～	令和9年3月31日
指定管理期間	3年		
公募／非公募	非公募		
指定管理者名	(一財)富山市大沢野健康文化推進財団		
料金区分	使用料制		
施設の設置目的 (条例の設置目的)	老人福祉法(昭和38年法律第133号)第15条第5項の規定に基づき、老人福祉センターを置くもの。		

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
利用者数	20,873	24,541	20,600	29,446	30,000	(人)
開館日数	333	333	277	333	333	(日)

料金収入

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
収入額	1,596	1,891	1,568	1,296	1,300	(千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

- ・R6年度は2ヵ月間工事休館のため利用者数は減少している。
- ・コロナウィルス感染症の影響により来館者数が6割近く減少したが、徐々に回復している。

4 収入の増加(減少)の理由

- ・R7年度は、入館者数が増えているが料金収入が減少している。これは、市の高齢者ふれあい入浴事業の統一・拡充に伴い、入浴券利用者が前年より11,573枚増えたことが要因と考えられる。

5 評価項目

(1) サービス向上に向けた取組み

- ・替わり湯サービス(菖蒲湯、柚子風呂)
- ・各種レクリエーション活動実施(将棋、囲碁)
- ・サークル活動の支援(陶芸教室)

(2) 利用促進に向けた取組み

- ・多くの方が利用できるように無料巡回バスを週4回運行している。
- ・団体送迎を実施している。
- ・歳時・季節ごとのイベント実施(替わり湯)
- ・専用ホームページの制作。

(3) 利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

・「お客様の声」としてアンケート箱を設置し、利用者の意見・要望及び苦情を聞き、回答を公表しサービスに反映させている。回答に当たっては、サブマネージャーを中心とした随時の協議のほか、マネージャーや理事長を加えた会議等で改善・早期解決に努めている。
 ・定期的な人材育成のための職員教育・研修の実施(接遇研修、救急法等)

(4) 関係団体等との連携

・老人クラブ、スポーツ協会、母子保健推進員、地区社協、南商工会の代表者から意見や要望を徴取している。

(5) 施設・設備の維持管理

・利用者に安全かつ安心して利用いただくため、専門技術者による施設・設備の毎日の巡回点検や燃料等の使用量を記録することで、トラブルの予防・早期発見などに努めている。
 ・徹底したデマンド管理及び全館の節電に努めている。
 ・LED球による省エネ対策を実施している。
 ・長期修繕計画に基づき濾過装置の入替など市と協議のうえ計画的に修繕を実施している。

(6) 個人情報保護の取組み

・関係法令及び市条例等を順守し、財団の基本方針及び取扱マニュアル並びに管理業務仕様書に基づき取組みを行っている。
 ・業務に関する個人情報の範囲及び留意事項を指示するマニュアルを作成し、定例会等で周知徹底を図るとともに、日常業務の中で必要に応じた指導を行っている。
 ・個人情報の記載のある書類等については、複写あるいは外部へ提供、若しくは持ち出しを禁止している。また、パソコンやファクシミリ等の通信回線による送信を禁止している。
 ・個人情報に記載されている書類等の廃棄は、裁断処理又は専門処理業者に委託し確実に処分している。
 ・個人情報の保護に対する基本方針をホームページで公表している。

(7) 危機管理・安全管理等の取組み

・事故や災害時に備えて、財団職員及び施設管理委託スタッフを含めて毎年救命講習を受講している。
 ・事務所にAEDを設置し、緊急時にも対応可能な状態としている。
 ・ヒートショックの予防として冬季に館内放送にて注意喚起している。
 ・火災訓練として消火訓練・避難誘導訓練を実施し、職員全員が緊急時に備えている。
 ・事故が発生した場合の迅速な被害者の救護、保護などの応急処置のため、状況に応じて関係機関に連絡を取り対処を行えるよう緊急時対応マニュアルを作成し、管理・連絡体制を構築している。
 ・温泉、浴槽等の水質管理の徹底を図るため法令に基づきレジオネラ菌などの検査を定期的に行い、適正な衛生管理体制を整えている。
 ・スタッフ全員が、日常から安全・防犯・防災意識を高めるよう指導している。

(8) 所管課の管理運営確認状況

- ア 管理業務報告書等の受理
- イ 市担当職員による現地確認
- ウ 個人情報に関するトラブルの有無
- エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

実施の有無	過去3年間の実績
有	36
有	年2回
無	無
無	無

【その他トラブルの具体的内容と対応】

(9) 今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

・老朽化している施設・設備を安全かつ安定的に維持管理し運営していくため、予防的・長寿命化の観点も含め、中長期計画に基づき修繕等を行っていく。
 ・利用料金全般について、適正な受益者負担と受容水準を考慮して見直し(引き上げ)、収入増を図る。
 ・いきがい・にぎわいづくりにつながるイベント等の企画実施。

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1) 指定管理者の収支

① 事業計画(指定申請書等提出時点)

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	委託料	54,862	54,762	23,172	23,272	23,372
	補助金 (人件費)	0	0	11,185	11,437	11,681
	利用料金					
	合計	54,862	54,762	34,357	34,709	35,053

歳出	人件費	9,847	9,865	11,185	11,437	11,681
	管理費	45,015	44,897	23,172	23,272	23,372
	その他	0	0	0	0	0
	合計	54,862	54,762	34,357	34,709	35,053

収支	0	0	0	0	0
----	---	---	---	---	---

② 実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	委託料	58,364	57,536	24,106	24,252	24,480
	補助金 (人件費)	0	0	16,433	17,818	19,618
	利用料金	0	0	0	7	0
	合計	58,364	57,536	40,539	42,077	44,098

歳出	人件費	7,761	7,574	16,418	17,818	19,618
	管理費	50,671	49,854	23,994	24,311	24,480
	その他	0	0	0	0	0
	合計	58,432	57,428	40,412	42,129	44,098

収支	0	-68	108	127	-52	0
----	---	-----	-----	-----	-----	---

③事業計画と実績の収支の差

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
①事業計画の収支	0	0	0	0	0
②実績の収支	-68	108	127	-52	0
差(②-①)	-68	108	127	-52	0

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

・概ね計画どおり執行している。

(2)市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	使用料	1,596	1,891	1,568	1,296	1,300
	その他					
	委託料 精算等					
	合計	1,596	1,891	1,568	1,296	1,300

歳出	委託料	58,364	57,536	24,106	24,252	24,480
	補助金 (人件費)	0	0	16,433	17,818	19,618
	修繕費					
	その他					
	合計	58,364	57,536	40,539	42,070	44,098

収支 0 **-56,768** **-55,645** **-38,971** **-40,774** **-42,798**

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

・令和6年度から歳出にかかる健康福祉センターとの面積按分29%⇒10%に見直した。
 ・令和6年度から館長1名増員。
 ・燃料費・光熱水費の高騰に加え人件費の上昇が、収支に大きな影響を及ぼしている。

7 自主事業の実施状況

(1)指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 →

無

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

実施の有無 →

実施しなかった場合、その理由

事業②

事業内容

実施の有無 →

実施しなかった場合、その理由

(2) 指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)で記載した事業は除く。

事業①

事業内容

事業②

事業内容

(3) 自主事業の収支状況

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入					
	その他				
	合計	0	0	0	0
歳出					
	その他				
	合計	0	0	0	0
収支	0	0	0	0	0

(4) 自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

令和8年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	富山市・医師会急患センター			
所管課	福祉政策課			
指定管理始期／終期	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日	
指定管理期間	5年			
公募／非公募	非公募			
指定管理者名	公益社団法人 富山市医師会			
料金区分	利用料金制			
施設の設置目的 (条例の設置目的)	救急の医療を必要とする者に対し応急の医療を行うため			

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
利用者数	39,468	43,267	40,352	37,324	37,000	(人)
開館日数	365	366	365	365	365	(日)

料金収入

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
収入額	691,273	618,116	516,746	480,274	462,915	(千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

コロナ感染者やインフルエンザ感染者による増加がみられたが、最近では人口減少による受診者数の減少や子ども医療電話相談事業(#8000)・救急安心センター事業(#7119)を利用し、軽症者の受診が減っている。また、コンビニ受診が減少している。

4 収入の増加(減少)の理由

コロナ感染者による増加やコロナ診療加算があり増加していたが、コロナ感染が5類に変更され、加算がなくなり収入が大幅に減った。最近では受診者数減少により収入が減少している。

5 評価項目

(1) サービス向上に向けた取組み

繁忙期の感染対策と待ち時間対策をしている。感染対策として発熱患者と通常患者の分離。車内待機対応。待ち時間対策としては医師・職員増員。受付番号による待ち人数の見える化。待合椅子の増設。レセコンの増設。フリーWifiの設置。陽性者に対して約束処方と後日会計対応による待ち時間の短縮など対応してきた。

(2) 利用促進に向けた取組み

医療機関は法律により広告を厳しく制限されている。

(3) 利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

アンケートは実施していないが、患者さんからの要望や苦情に関しては迅速かつ丁寧に対応している。苦情(クレーム)などは富山市医師会危機管理委員会に報告し、事例など全職員に速やかに周知して問題点をあげ改善策を立案し、数か月後には評価している。

(4) 関係団体等との連携

富山医療圏内の医療機関や他都市医師会・公的病院・富山市薬剤師会と緊密に連携し、急患業務の運営にあたっている。

(5) 施設・設備の維持管理

館内清掃は365日、外部委託をしている。電気設備・消防設備・エレベータは法令とおり外部委託による保守点検を行っている。医療廃棄物については指定した専門業者へ廃棄処理(マニフェスト処理)をしている。令和8年度からエアコン清掃を外部委託することにした。

(6) 個人情報保護の取組み

個人情報の外部漏洩のないよう医師、職員等に周知し、取扱いに注意喚起している。また、個人情報保護のための職員研修を定期的実施している。カルテ等の紛失が起らないよう保管倉庫を設置し、定められた場所への保管を徹底しており、勝手な持ち出しは禁止となっている。

(7) 危機管理・安全管理等の取組み

急患センターとしては毎月、医療安全委員会を開催している。インシデント事例に関しては全職員に周知・改善を立案している。また、年3回全部門危機管理委員会を開催している。更に富山市医師会として危機管理委員会を年3回開催している。天災想定での防災訓練やシュミレーションをしている。また、災害委員会が中心となり全職員に月1回「急患センター災害用安否確認」の訓練をしている。同時にBCPを作成し、全職員を対象に研修やグループワークなど実施している。

(8) 所管課の管理運営確認状況

- ア 管理業務報告書等の受理
- イ 市担当職員による現地確認
- ウ 個人情報に関するトラブルの有無
- エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

実施の有無	過去3年間の実績
有	36回
有	随時
無	無
無	無

【その他トラブルの具体的内容と対応】

特になし

(9) 今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

特になし

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1) 指定管理者の収支

① 事業計画(指定申請書等提出時点)

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	委託料					
	補助金 (人件費)					
	利用料金	351,246	382,840	390,491	398,296	406,257
	合計	351,246	382,840	390,491	398,296	406,257

歳出	人件費	197,109	199,952	200,139	188,653	181,428
	管理費	189,734	182,881	183,259	183,676	184,065
	その他					
	合計	386,843	382,833	383,398	372,329	365,493

収支 **-35,597** 7 7,093 25,967 40,764

② 実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (見込)	R8年度 (見込)
歳入	委託料	3,432	3,454	3,388	2,992	2,860
	補助金 (人件費)	429	774		904	
	利用料金	691,273	618,116	516,746	480,274	462,915
	合計	695,134	622,344	520,134	484,170	465,775

歳出	人件費	214,869	228,726	190,560	221,080	210,267
	管理費	260,276	267,857	272,982	278,826	298,360
	その他	169,094	21,763	22,024		
	合計	644,239	518,346	485,566	499,906	508,627

収支 0 **50,895** 103,998 34,568 **-15,736** **-42,852**

③事業計画と実績の収支の差

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (見込)	R8年度 (見込)
①事業計画の収支	-35,597	7	7,093	25,967	40,764
②実績の収支	50,895	103,998	34,568	-15,736	-42,852
差(②-①)	86,492	103,991	27,475	-41,703	-83,616

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

特にコロナの患者数が読めなかった。また、国の政策によりコロナ診療加算が大きく変動したため収支差が大きくなった。最近では患者数の減少が想定より多くなっている。
職員給与のベースアップ・報償費見直しにより人件費が増加した。また、物品等の値上がりによる経費が増加している。

(2)市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	使用料	15	15	15	15	15
	その他	2,475	2,629	2,783	2,515	2,515
	委託料 精算等					
	合計	2,490	2,644	2,798	2,530	2,530
歳出	委託料	0	0	0	0	0
	補助金 (人件費)	0	0	0	0	0
	修繕費					
	その他					
	合計	0	0	0	0	0
収支	0	2,490	2,644	2,798	2,530	2,530

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

歳入：使用料は自動販売機設置による建物の行政財産使用料。
歳出：利用料金制を採用しているため市の支出はなし。

7 自主事業の実施状況

(1)指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 →

無

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

実施の有無 →

実施しなかった場合、その理由

事業②

事業内容

実施の有無 →

実施しなかった場合、その理由

(2) 指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)で記載した事業は除く。

事業①

事業内容

特になし

事業②

事業内容

(3) 自主事業の収支状況

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入					
	その他				
合計	0	0	0	0	0

歳出					
	その他				
合計	0	0	0	0	0

収支	0	0	0	0	0
----	---	---	---	---	---

(4) 自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

特になし

令和8年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	岩稲ふれあいセンター		
所管課	観光政策課		
指定管理始期／終期	令和6年4月1日	～	令和9年3月31日
指定管理期間	3年		
公募／非公募	非公募		
指定管理者名	株式会社ほそいり		
料金区分	利用料金制		
施設の設置目的 (条例の設置目的)	住民の生活改善、保健休養及び勤労意欲の増進に資するとともに、地域活性化の担い手である若者の定着と都市市民との交流促進を図ることを目的として、富山市岩稲ふれあいセンターを設置する。		

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
利用者数	91,107	105,588	113,613	108,679	103,246	(人)
開館日数	363	363	359	358	350	(日)

料金収入

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
収入額	165,395	201,180	208,291	210,285	226,900	(千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

R6までは、コロナ禍から回復し順調に増加したが、R7は入浴料金の値上げ(4月～)や地鉄バスの廃線(10月～)、施設修繕による休館等の影響により減となった。

4 収入の増加(減少)の理由

R6までは、利用者増に伴い増加し、R7は利用者減にもかかわらず、新たなプラン(シニアプラン)等により平日の宴会、宿泊宴会が増え収入が増加した。

5 評価項目

(1) サービス向上に向けた取組み

社内ミーティングを強化し、職員個々の意識改革を行った。

(2) 利用促進に向けた取組み

宴会(団体)利用に向けた新たなプランの作成(シニアプラン・同窓会プラン)

(3) 利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

・来館者向けのアンケートの実施
 ・カスハラに対する職員研修会の開催

(4) 関係団体等との連携

温泉運営協議会主催のスタンプラリーの実施

(5) 施設・設備の維持管理

職員による目視点検及び各種定期点検等の結果に基づき、市と修繕協議を行っている

(6) 個人情報保護の取組み

セキュリティソフトの定期更新

(7) 危機管理・安全管理等の取組み

・緊急時の対応手順の周知や連絡リストの作成
 ・定期の消防訓練の実施

(8) 所管課の管理運営確認状況

- ア 管理業務報告書等の受理
- イ 市担当職員による現地確認
- ウ 個人情報に関するトラブルの有無
- エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

実施の
有無

過去3年間
の実績

有	月1回×3年=36回
有	年2回×3年=6回
無	
無	

【その他トラブルの具体的内容と対応】

(9) 今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

建物の老朽化

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1)指定管理者の収支

①事業計画(指定申請書等提出時点)

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)	
歳入	委託料		5,489	2,642	7,502	5,896	3,937
	補助金 (人件費)		0	0	0	0	0
	利用料金		203,019	204,377	203,020	213,520	219,220
	合計		208,508	207,019	210,522	219,416	223,157

歳出	人件費		83,856	84,474	77,701	83,295	85,536
	管理費		73,828	74,313	84,821	85,621	85,621
	その他		45,335	45,590	48,000	50,500	52,000
	合計		203,019	204,377	210,522	219,416	223,157

収支		5,489	2,642	0	0	0
----	--	-------	-------	---	---	---

②実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (見込)	R8年度 (見込)	
歳入	委託料		4,990	2,401	6,820	5,360	3,579
	補助金 (人件費)		0	0	0	0	0
	利用料金		165,395	201,181	208,291	210,285	226,900
	合計		170,385	203,582	215,111	215,645	230,479

歳出	人件費		74,333	80,702	85,931	90,134	96,188
	管理費		79,673	80,448	84,608	84,760	89,138
	その他		37,866	46,126	44,839	48,328	49,082
	合計		191,872	207,276	215,378	223,222	234,408

収支	0	-21,487	-3,694	-267	-7,577	-3,929
----	---	---------	--------	------	--------	--------

③事業計画と実績の収支の差

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
①事業計画の収支	5,489	2,642	0	0	0
②実績の収支	-21,487	-3,694	-267	-7,577	-3,929
差(②-①)	-26,976	-6,336	-267	-7,577	-3,929

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

事業計画と実績の収支の差が生じているが、利用者の回復等により収支の差は年々小さくなっている。

(2)市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	使用料	58	58	56	56	56
	その他					
	委託料 精算等					
	合計	58	58	56	56	56

歳出	委託料	5,489	2,642	7,502	5,896	3,937
	補助金 (人件費)	0	0	0	0	0
	修繕費	182	13,613	15,556	26,825	18,300
	その他	0	1,815	2	2	2
	合計	5,671	18,070	23,060	32,723	22,239

収支 0 **-5,613** **-18,012** **-23,004** **-32,667** **-22,183**

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

設備の老朽化が著しく、修繕に要する経費が増加傾向にある。

7 自主事業の実施状況

(1)指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 →

有

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

高年齢者向けの健康講座の開催

実施の有無 →

無

実施しなかった場合、その理由

事業②

事業内容

実施の有無 →

実施しなかった場合、その理由

(2) 指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)で記載した事業は除く。

事業①

事業内容

--

事業②

事業内容

--

(3) 自主事業の収支状況

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入					
	その他				
	合計	0	0	0	0

歳出					
	その他				
	合計	0	0	0	0

収支	0	0	0	0	0
----	---	---	---	---	---

(4) 自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

--

令和8年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	とやまスローライフ市民農園		
所管課	農政企画課		
指定管理始期／終期	令和6年4月1日	～	令和9年3月31日
指定管理期間	3年		
公募／非公募	非公募		
指定管理者名	特定非営利活動法人 里山倶楽部		
料金区分	利用料金制		
施設の設置目的 (条例の設置目的)	農村における地域資源を生かして整備した生活体験の場において、農村と都市の交流を促進するとともに、自然環境の中での体験を通じて、市民のゆとりと生きがいの創出に寄与することを目的とするもの。		

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)
利用者数	18,542	17,658	17,832	18,126	18,126 (人)
開館日数	305	307	301	297	297 (日)

料金収入

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)
収入額	3,017	3,017	2,996	3,615	3,615 (千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

やや増加の傾向がみられるが、利用者数の集計については、市民農園スタッフが農作業用具の貸出簿の記録や目視での来園者確認によるものであること、年度や利用者によって来園回数が異なることから、一概に理由付けることは難しい。

4 収入の増加(減少)の理由

令和7年度より利用料金を上げたことによる。

5 評価項目

(1) サービス向上に向けた取組み

- ・市民農園利用者に対する野菜栽培等に関する質問対応、現地栽培指導、管理機講習会の開催
- ・市民農園祭の開催

(2)利用促進に向けた取組み

- ・景観保全を目的とした花の散歩道の花壇作成
- ・広報活動(広報とやま、富山市HP、里山倶楽部HP)

(3)利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

翌年度更新の際にアンケートを行い、利用者ニーズの把握に努めている。

(4)関係団体等との連携

- ・開ヶ丘農業管理組合が行う作業に参加(草刈り、電気柵設置、えざらい)
- ・池多地域おこし協議会の総会出席、市民農園祭の共同開催(R7年度)

(5)施設・設備の維持管理

利用者に無料貸出している管理機の消耗が激しく、故障の際には修繕を行っており、施設・設備の維持管理には問題が無かったと評価する。

(6)個人情報保護の取組み

個人情報に記載されている書類については、事務所内の鍵のかかる場所に保管している。廃棄の際はシュレッダーをかけており、個人情報の保護が適切にされていたと評価する。

(7)危機管理・安全管理等の取組み

利用者が安全に管理機を利用できるよう、管理機講習会を行うなど、安全管理の取り組みは適切に行われていると評価する。

(8)所管課の管理運営確認状況

- ア 管理業務報告書等の受理
- イ 市担当職員による現地確認
- ウ 個人情報に関するトラブルの有無
- エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

実施の有無	過去3年間の実績
有	月1回×3年=36回
有	必要に応じ実施
無	-
無	-

【その他トラブルの具体的内容と対応】

特になし

(9)今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

- ・物価、人件費高騰による指定管理委託料の不足
- ・老朽化する備品(刈払機や軽四トラック等)の更新費用
- ・地域おこし協力隊の受け入れ及び連携

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1) 指定管理者の収支

① 事業計画(指定申請書等提出時点)

		制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	委託料		0	0	2,737	2,737	2,737
	補助金 (人件費)		0	0	0	0	0
	利用料金		3,029	3,029	3,029	3,029	3,029
	合計		3,029	3,029	5,766	5,766	5,766

歳出	人件費		1,964	4,150	4,121	4,121	4,121
	管理費		1,285	1,765	1,795	1,795	1,795
	その他						
	合計		3,249	5,915	5,916	5,916	5,916

収支			-220	-2,886	-150	-150	-150
----	--	--	------	--------	------	------	------

② 実績

		制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	委託料		0	0	2,737	2,737	2,752
	補助金 (人件費)		0	0	0	0	0
	利用料金		3,017	3,017	2,996	3,615	3,615
	合計		3,017	3,017	5,733	6,352	6,367

歳出	人件費		4,122	4,164	4,791	5,336	5,270
	管理費		1,550	2,014	2,500	1,804	2,380
	その他						
	合計		5,672	6,178	7,291	7,140	7,650

収支	0		-2,655	-3,161	-1,558	-788	-1,283
----	---	--	--------	--------	--------	------	--------

③事業計画と実績の収支の差

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
①事業計画の収支	-220	-2,886	-150	-150	-150
②実績の収支	-2,655	-3,161	-1,558	-788	-1,283
差(②-①)	-2,435	-275	-1,408	-638	-1,133

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

令和6年度から指定管理委託料の支払いを開始したことにより、支出超過の差は小さくなった。しかし、物価・人件費の高騰の影響や、老朽化する備品の修繕費等、今後も支出の増額が見込まれる。

(2)市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)	
歳入	使用料		0.11	0.11	0.11	1.11	
	その他					1,700	
	委託料 精算等						
	合計		0.11	0.11	0.11	1.11	1,703.11
歳出	委託料		0	0	2,737	2,737	2,752
	補助金 (人件費)		0	0	0	0	0
	修繕費		462				
	その他		198.66	388.76	361.36	347.56	2,257.16
	合計		660.66	388.76	364.10	3,084.56	5,009.16
収支	0	-661	-389	-364	-3,083	-3,306	

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

歳出その他:土地借上料、管理機購入費、堆肥購入費

AED消耗品費・トラクター購入費(R8のみ)

必要とされている管理機の台数が不足しているため、常に管理機が稼働能力以上に利用されている状況にあり、耐用年数より速く故障してしまうことも多い。

普段農機具に接する機会が少ない利用者に対し、安全で利用しやすい管理機の貸出が求められるため、今後も引き続き管理機の更新は行っていく必要がある。

7 自主事業の実施状況

(1) 指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 →

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

栽培支援事業

- ・野菜栽培初心者や高齢の利用者等に対する利用区画の耕起支援(有料・通年)
- ・利用者や来園者に対する野菜苗・種子等の販売(→令和5年度以降は独自事業として整理)

実施の有無 →

実施しなかった場合、その理由

事業②

事業内容

実施の有無 →

実施しなかった場合、その理由

(2) 指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)で記載した事業は除く。

事業①

事業内容

管理機講習会

事業②

事業内容

栽培初心者等に対し小型耕運機の扱い方を講習する(無料)

(3) 自主事業の収支状況 (単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)	
歳入	苗販売、耕起 手数料、自動 販売機収入	392,427	80,465	79,318	54,047	100,000
	その他					
	合計	392,427	80,465	79,318	54,047	100,000
歳出	苗等仕入、自 動販売機電気 代、人件費	236,433	47,000	47,000	60,789	100,000
	その他					
	合計	236,433	47,000	47,000	60,789	100,000
収支	155,994	33,465	32,318	-6,742	0	

(4) 自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

・令和5年度より苗販売を独自事業としたため、収支としては令和4年度と比較し減となっている。
 ・令和7年度以降は人件費の高騰等により、歳入より歳出が上回っており、手数料の額等内容について検討が必要である。

令和8年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	八尾ゆめの森交流施設				
所管課	農林事務所農業振興課				
指定管理始期／終期	令和6年4月1日	～	令和9年3月31日		
指定管理期間	3年				
公募／非公募	非公募				
指定管理者名	株式会社八尾サービス				
料金区分	利用料金制				
施設の設置目的 (条例の設置目的)	都市と農村の交流を推進することにより、特産物の販路拡大及び就業所得機会の創出を図り、もって地域農業の振興と地域の活性化に寄与することを目的として、富山市八尾ゆめの森交流施設を設置する。				

2 利用者数の状況

【ゆうゆう館】

利用者数及び開館日数

	R4	R5	R6	R7	R8(目標値)	
利用者数	92,656	104,452	105,180	97,530	120,000	(人)
開館日数	310	311	311	315	313	(日)

料金収入

	R4	R5	R6	R7	R8(目標値)	
利用料金	167,138	198,363	108,881	103,159	110,333	(千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

令和元年度末から始まった新型コロナウイルスの影響により大幅に減少した利用率については、令和7年度においても完全な回復には至っていません。これは、令和4年のロシアによるウクライナ侵攻の影響による燃油高騰が長期に渡り続く中、外出控えの動きから浮動客及び浮遊客が減少していることが原因であると考えています。

また収益については利用者の利用形態の変化により、大人数での利用は減少し、小人数での利用が増加した結果、運営効率が低下し、収益が伸び悩んでいると推察しています。

またニューヨークタイムズによる「2025年に行くべき52カ所」に富山市が選定されたことにより、インバウンド利用者は微増しました。

4 収入の増加(減少)の理由

上記理由のとおり、利用者数の増減に伴い、収入も増減した。

【中山間地域活性化施設】

利用者数及び開館日数

	R4	R5	R6	R7	R8(目標値)
利用者数	3,166	3,809	4,335	4,289	5,600 (人)
開館日数	313	314	314	315	313 (日)

料金収入

	R4	R5	R6	R7	R8(目標値)
利用料金	426	403	503	499	300 (千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

ゆうゆう館と同じく、燃油高騰の影響により利用率は伸び悩んでいる。

4 収入の増加(減少)の理由

上記理由のとおり、利用者数の増減に伴い、収入も増減した。

【体験農園】

利用者数及び開館日数

	R4	R5	R6	R7	R8(目標値)
利用者数	881	1,289	1,028	928	1,000 (人)
開館日数	313	314	314	315	313 (日)

料金収入

	R4	R5	R6	R7	R8(目標値)
利用料金	0	0	0	0	0 (千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

ゆうゆう館と同じく、燃油高騰の影響により利用率は伸び悩んでいる。

4 収入の増加(減少)の理由

無料施設のため収支実績なし

【子ども元気村】

利用者数及び開館日数

	R4	R5	R6	R7	R8(目標値)
利用者数	2,244	2,013	2,066	1,300	3,000 (人)
開館日数	80	314	314	173	235 (日)

料金収入

	R4	R5	R6	R7	R8(目標値)
利用料金	50	59	46	54	50 (千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

ゆうゆう館と同じく、燃油高騰の影響により利用率は伸び悩んでいる。
また、令和7年度においては、施設周辺で熊の目撃情報や痕跡が発見されたので、10月中旬から臨時休館とし、さらに1~3月は大雪のため臨時休館としたため開館日数が減少している。

4 収入の増加(減少)の理由

上記理由のとおり、利用者数の増減に伴い、収入も増減した。

5 評価項目

(1) サービス向上に向けた取組み

レストランホール接客スタッフの接客研修を行った。

(2) 利用促進に向けた取組み

コロナ禍以降、大人数での利用が減り、少人数での利用が増加したことから、少人数での宴会受付も可能とし、施設利用者増を目指した。

(3) 利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

お客様からのご意見をスタッフ全員で共有し、またそのご意見をもとに改善した。(脱衣室の椅子点検、サウナドア取っ手の点検など)

(4) 関係団体等との連携

越中八尾観光協会と連携し、互いの施設をPRして利用促進に努めた。
県内のそば打ち愛好者でつくる団体「やつおそば大楽(だいがく)」と連携し、そば打ち体験付き宴会プランやそば打ち体験付き個室ランチプランを行い、利用促進に努めた。

(5) 施設・設備の維持管理

温泉機器・厨房機器・空調機器等、主要な設備については各業者とメンテナンス契約を結び、劣化や不具合等で営業に支障をきたさないよう努めている。またあわせてスタッフによる日々の見回りの点検で異常がないかを確認している。

(6) 個人情報保護の取組み

フロントシステムを管理するパソコンは、他のパソコンとはLAN接続をさせず単独で使用して、顧客名簿等にアクセスさせないようにしている。またウィルス感染しないよう二重のウィルス対策を施している。

(7) 危機管理・安全管理等の取組み

毎年二回の消防訓練。食中毒に備えた厨房環境の検査を月一回。レジオネラ菌対策として毎月業者による検査を実施(法令上は年一回)、また一日に二回、塩素濃度検査を行い、水質に異常がないかをチェック。
露天風呂で体調不良になった利用客に備えて緊急呼び出しボタンを設置。

(8) 所管課の管理運営確認状況

- ア 管理業務報告書等の受理
- イ 市担当職員による現地確認
- ウ 個人情報に関するトラブルの有無
- エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

実施の有無	過去3年間の実績
有	月1回×3年=36回
有	月1回×3年=36回
無	無
無	無

【その他トラブルの具体的内容と対応】

特になし

(9) 今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

- ・子供交流広場の有効活用
- ・体験農園の有効活用

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1)指定管理者の収支

①事業計画(指定申請書等提出時点)

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	委託料	24,541	24,351	44,053	40,981	35,283
	補助金 (人件費)	0	0	10,473	10,473	10,473
	利用料金	211,534	213,091	193,903	202,999	212,960
	合計	236,075	237,442	248,429	254,453	258,716

歳出	人件費	103,675	105,042	114,771	116,148	117,434
	管理費	132,400	132,400	133,658	138,305	141,282
	その他	0	0	0	0	0
	合計	236,075	237,442	248,429	254,453	258,716

収支	0	0	0	0	0
----	---	---	---	---	---

②実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	委託料	27,720	24,351	39,630	34,967	27,519
	補助金 (人件費)	9,495	9,505	12,475	14,139	14,563
	利用料金	167,615	201,300	109,431	108,873	229,212
	合計	204,830	235,156	161,536	157,979	271,294

歳出	人件費	87,126	96,405	70,747	75,449	121,343
	管理費	117,617	133,958	85,630	87,116	149,951
	その他	0	0	0	0	0
	合計	204,743	230,363	156,377	162,565	271,294

収支	0	87	4,793	5,159	-4,586	0
----	---	----	-------	-------	--------	---

③事業計画と実績の収支の差

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
①事業計画の収支	0	0	0	0	0
②実績の収支	87	4,793	5,159	-4,586	0
差(②-①)	87	4,793	5,159	-4,586	0

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

令和7年度も前年度と同水準の利用料金を維持したものの、人件費、水道光熱水費等の歳出増加に伴い、令和7年度は赤字となった。

(2)市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	使用料	0	0	0	0	0
	その他	47	48	74	75	75
	委託料 精算等	0	0	0	0	0
	合計	47	48	74	75	75

歳出	委託料	27,720	24,351	39,630	34,967	27,519
	補助金 (人件費)	9,495	9,505	12,475	14,139	14,563
	修繕費	0	0	0	0	0
	その他	47,750	43,327	23,408	12,017	40,000
	合計	84,965	77,183	75,513	61,123	82,082

収支 0 **-84,918** **-77,135** **-75,439** **-61,048** **-82,007**

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

経営状況の改善により貸付金は減少しているが、施設の老朽化に伴い修繕等に係る委託料が増加傾向にある。

7 自主事業の実施状況

(1)指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 →

有

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

食堂の運営

実施の有無 →

有

実施しなかった場合、その理由

事業②

事業内容

実施の有無 →

実施しなかった場合、その理由

(2)指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)で記載した事業は除く。

事業①

事業内容

--

事業②

事業内容

--

(3)自主事業の収支状況

(単位:千円)

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	食堂売り上げ	0	0	116,111	116,807	102,277
	その他					
	合計	0	0	116,111	116,807	102,277
歳出	人件費	0	0	48,142	48,894	46,777
	管理費	0	0	56,405	57,564	55,500
	その他					
	合計	0	0	104,547	106,458	102,277
収支		0	0	11,564	10,349	0

(4)自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

令和6年度から令和8年度までの指定管理においては、食堂運営を自主事業として扱ったが、令和7年度指定管理監査において、条例に食事を提供することとしているので、自主事業ではないとの指摘がありましたので、令和9年度からの指定管理については、指定管理委託の業務内容に含むこととする。ただし食事の提供全般を委託の業務内容に含むか精査が必要(食堂を利用しない日中の宴会等は自主事業の範疇ではないか)。

令和8年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	割山森林公園		
所管課	農林事務所農地林務課		
指定管理始期／終期	令和6年4月1日	～	令和9年3月31日
指定管理期間	3年		
公募／非公募	非公募		
指定管理者名	(株)ほそいり		
料金区分	利用料金制		
施設の設置目的 (条例の設置目的)	豊かな自然と森林を休暇の有効利用空間として提供し、市民の生活改善、保健休養及び勤労意欲の増進に資するとともに、地域活性化の担い手である若者の定着と都市住民との交流による地域の発展と振興を図る		

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
利用者数	18,289	17,053	17,931	15,673	18,000	(人)
開館日数	361	362	361	361	361	(日)

料金収入

年度	R4	R5	R6	R7(見込)	R8(見込)	
収入額	35,725	32,925	47,792	42,896	48,670	(千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

R4は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、密集・密接を避けられる娯楽として屋外活動が見直されたことで増加したが、R5からは感染症の収束に伴い、利用者が他の娯楽へ流れ、減少傾向となった。ただし、R6については、リニューアルによりグランピング等、新しい施設が稼働したため利用者が増加した一方、夏は記録的な猛暑が続き、繁忙期である8月・9月の利用が大きく減退した。さらにR7は、高温少雨による土田池の水質悪化に伴い釣りが中止となり、またクマの大量出没情報の影響により予約の減少が生じ、利用者が減少した。

4 収入の増加(減少)の理由

上記理由による利用者の増減に伴い、収入もR6は増加したがR7は減少した。

5 評価項目

(1) サービス向上に向けた取組み

受付時の案内手順を見直し、利用ルールおよび施設案内の説明内容を整理することで、利用者に分かりやすい案内対応を実現した。
また、園内の清掃頻度を見直して炊事場・トイレ等の衛生環境を強化するとともに、案内表示を追加・更新し、利用環境の一層の改善を図った。

(2)利用促進に向けた取組み

ホームページにオンライン予約システムを導入し、24時間予約受付を実現することで、利用者が時間や場所にとらわれない予約環境を整備した。同時に施設情報・利用ルール・空き状況をホームページで発信し、利用検討者への情報提供を充実させた。
また、カブトムシ育成イベントやスノーフェスタなどを開催することで、集客とPRを強化した。今後はグランピングの日帰りプランやピザ焼き体験など、新たな企画を推進していく予定である。

(3)利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

近年、害虫(カメムシ)が異常発生に伴い、客室への侵入が相次いだため、利用者からの苦情に対する措置として、チェックイン前の全室点検及び窓枠周辺への残留性忌避剤の散布等を行った。

(4)関係団体等との連携

日本オートキャンプ協会が発行する「オートキャンプ白書」に示されている利用動向・安全対策・地域連携の方向性を参考とし、運営改善を実施した。

(5)施設・設備の維持管理

各施設について巡回点検を実施し、破損個所の有無および老朽化状況の確認を行った。確認に基づき、照明設備の不具合箇所の交換や給排水設備の簡易補修なども行った。
さらに、倒木の恐れがある樹木の剪定なども行い、利用者の安全性の確保に努めた。

(6)個人情報保護の取組み

業務で取り扱う個人情報および関連データについて、従来の管理からNAS(ネットワーク接続型ストレージ)による一元管理へ移行し、データの保管・共有環境を整備した。

(7)危機管理・安全管理等の取組み

「緊急時連絡体制組織図」に基づき、消防・医療機関・警察等の関係機関との連携体制を再確認し、緊急時の初動対応手順について従業員間で共有を図った。また、定期的な園内巡回点検により、倒木の恐れのある樹木や危険箇所を早期発見し、速やかに改善措置を実施した。

(8)所管課の管理運営確認状況

	実施の有無	過去3年間の実績
ア 管理業務報告書等の受理	有	月1回×3年=36回
イ 市担当職員による現地確認	有	必要に応じ実施
ウ 個人情報に関するトラブルの有無	無	無
エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	無

【その他トラブルの具体的内容と対応】

・特になし

(9)今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

基本的な施設・設備の維持管理体制は構築されているものの、設備トラブルが頻発し、補修対応が追いつかない状況が生じている。今後、定期点検の充実による不具合の早期発見と迅速な補修体制の構築に注力する。
オンライン予約システムの導入により、利便性が向上した一方で、キャンセルされることも多いため、利用者行動の分析とキャンセル削減に向けた対応策の検討・実施に取り組む。

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1)指定管理者の収支

①事業計画(指定申請書等提出時点)

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	委託料	0	0	0	0	0
	補助金 (人件費)	0	0	0	0	0
	利用料金	33,270	33,770	51,957	51,957	51,957
	合計	33,270	33,770	51,957	51,957	51,957

歳出	人件費	19,212	19,636	23,588	24,450	25,412
	管理費	10,049	10,059	13,714	13,904	13,714
	その他	4,009	4,075	6,550	6,550	6,550
	合計	33,270	33,770	43,852	44,904	45,676

収支	0	0	8,105	7,053	6,281
----	---	---	-------	-------	-------

②実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (見込)	R8年度 (見込)
歳入	委託料	0	350	208	0	0
	補助金 (人件費)	0	0	0	0	0
	利用料金	35,725	32,925	47,792	42,896	48,670
	合計	35,725	33,275	48,000	42,896	48,670

歳出	人件費	16,242	16,375	21,872	21,202	25,166
	管理費	9,699	8,220	14,002	13,864	13,697
	その他	3,589	3,871	5,600	5,476	5,748
	合計	29,530	28,466	41,474	40,542	44,611

収支	0	6,195	4,809	6,526	2,354	4,059
----	---	-------	-------	-------	-------	-------

③事業計画と実績の収支の差

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
①事業計画の収支	0	0	8,105	7,053	6,281
②実績の収支	6,195	4,809	6,526	2,354	4,059
差(②-①)	6,195	4,809	-1,579	-4,699	-2,222

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

少雨による土田池の水質悪化や夏の猛暑、クマの大量出没等の影響により、利用料金収入が見込みを下回った。

(2)市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	使用料	3	3	3	3	3
	その他	21,169	152,100	8,300	800	3,100
	委託料 精算等					
	合計	21,172	152,103	8,303	803	3,103
歳出	委託料	44,353	29,450	892	729	2,705
	補助金 (人件費)	0	0	0	0	0
	修繕費	948	390	329		
	その他	1,393	457,544	9,878	558	574
	合計	46,694	487,384	11,099	1,287	3,279
収支	0	-25,522	-335,281	-2,796	-484	-176

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

令和5年度のリニューアルオープンに伴い、令和4年度は交付金の歳入、令和4・5年度は委託料およびその他(工事請負費)の歳出が大幅に増となっている。

7 自主事業の実施状況

(1)指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 →

有

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

天湖森スノーフェスタ
雪を利用した体験型イベント

実施の有無 →

有

実施しなかった場合、その理由

事業②

事業内容

釣り大会
11月に行う釣り大会

実施の有無 →

有

実施しなかった場合、その理由

(2) 指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)で記載した事業は除く。

事業①

事業内容

--

事業②

事業内容

--

(3) 自主事業の収支状況

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)	
歳入	売上	136	225	249	357	400
	その他					
	合計	136	225	249	357	400
歳出	諸経費	132	140	155	272	300
	その他					
	合計	132	140	155	272	300
収支	4	85	94	85	100	

(4) 自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

冬季に特色ある自主事業を展開することで、オフシーズン期間における来場者の増加と、増収が実現し、オフシーズン経営の課題改善に寄与した。

令和8年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	城址公園、城址公園駐車場		
所管課	管財課/公園緑地課		
指定管理始期/終期	令和6年4月1日	～	令和9年3月31日
指定管理期間	3年		
公募/非公募	公募		
指定管理者名	富山城址公園パークマネジメント共同企業体		
料金区分	使用料制		
施設の設置目的 (条例の設置目的)	(公園)主として市民の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする。		

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
利用者数			572,024	994,514	590,000	(人)
開館日数			365	365	365	(日)

料金収入

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	
収入額			28,852	32,936	34,000	(千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

R4からR6年度の利用者数は、安定して推移した。R7年1月にニューヨークタイムズ紙が発表した「2025年に行くべき52カ所」の中で富山が取り上げられて以降、利用者数も増加したと思われる。R8年3月は約6万食を提供した大型イベントや自主事業JOSHI SAKURA WALK2026の開催により駐車場利用促進となった。

4 収入の増加(減少)の理由

上記の利用者数の増加の理由と同じく、R7年1月にニューヨークタイムズ紙が発表した「2025年に行くべき52カ所」の中で富山が取り上げられて以降、利用者数が増加し、R8年3月は約6万食を提供した大型イベントや自主事業JOSHI SAKURA WALK2026の開催により駐車場収入の増加となった。

5 評価項目

(1) サービス向上に向けた取り組み

年に一度機械操作研修及び接客研修を行っている。
 車いす及び傘の無料貸し出し並びに混雑時の出庫補助を行っている。
 公園内施設(郷土博物館・佐藤記念美術館、まちなか観光案内所)と定期的に連絡調整会議を開き、指定管理者が主体となって施設間の情報共有と連携強化を図った。
 公園利用の促進を図るため、イベント開催、誘致を行った。イベント情報については、指定管理者で作成したHPIにて情報公開を行った。

(2) 利用促進に向けた取組み

公園利用の促進を図るため、イベント開催、誘致を行った。イベント情報については、指定管理者で作成したHPにて情報公開を行った。
令和7年度の誘致イベント(「MACHI MEGURI 2025」「音楽と食でつながるTOYAMA GROOVE PARK 2025 by HOKURIKU COCA-COLA BOTTLINGS」「冬の暮らし・降雪を楽しむ企画 雪玉で作るランタン制作ワークショップ」)

(3) 利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

事務所前にお客様アンケート箱を設置し、ご意見を投稿してもらっている。R7年度は、男子トイレの小便器上にある棚が邪魔であるという苦情と、好意的な意見の2件だった。苦情に対しては、棚の縁にクッションテープを貼り、ケガ予防とした。

(4) 関係団体等との連携

6月と11月に、富山城址公園戦略会議を開催した。(参加団体:富山市郷土博物館及富山市佐藤記念美術館、富山市観光協会、富山大手町コンベンション株式会社、富山商工会議所、ANAクラウンプラザホテル富山、大手モール振興会、株式会社富山市民プラザ、都市設計連合、県土木部都市計画課、市公園緑地課、市管財課)6月は、県庁周辺(県庁前広場とNHK跡地)の活用計画、城址公園の復興状況、問題点、そして当年のイベント予定を共有した。11月は、城址公園の8月の学生イベントの成功事例を基盤とした継続的な取り組みの重要性を再確認した。ステークホルダー間の垣根を超えた連携を通じて、城址公園を核としたエリアマネジメントの推進につながっている。

(株)富山市民プラザと協定を結び、富山大和等での買い物客に対し、駐車料金が2時間分無料となる駐車場として連携した。

(5) 施設・設備の維持管理

職員による日々の巡回点検、照明、空調等設備の運転監視及び軽易な日常の点検保守を行った。エレベーターは月次点検、自動ドア4回/年点検、消防設備3回/年点検を行った。点検において自動ドアはベルト等の経年劣化の指摘を受け、修繕完了した。誘導灯の不良の指摘により修繕を実施。地下排水ポンプの制御盤スイッチが作動しない事象が発生した際には、ヒューズの交換を行い復旧した。地下駐車場管制システム月次点検、自家用電気工作物高圧受電設備月次点検、定期的ゴミ収集などの専門業務については、再委託し適切に実施している。

(6) 個人情報保護の取組み

事務室内は関係者以外立ち入り禁止とし、個人情報ファイル等には取扱い注意と表記している。暗証キーを取り付けたキャビネットには、個人情報保存された職員のパソコン、貴重品拾得物を収納している。不要な個人情報の廃棄はシュレッダーを使用している。

行為許可申請書などの書類は職員が常駐する駐車場管理事務所に、部外者の目につかない場所で適切に保管している。

(7) 危機管理・安全管理等の取組み

事故や自然災害時に備え緊急事態対応マニュアルを作成し、役割分担、初動体制、連絡体制等確立し、全スタッフが対応できるよう研修を行った。

駐車場部については、お花見期間や富山祭り期間及び大規模イベント時には出入口に交通誘導員を配置し、徹底した安全管理に努めている。緊急時、災害発生時の業務実施体制を作成し、地下駐車場オペレーションマニュアルに緊急対応手順を載せている。R8年度においては、軽微な自損事故が発生したが、ケガを伴うような事故は発生していない。

(8) 所管課の管理運営確認状況

- ア 管理業務報告書等の受理
- イ 市担当職員による現地確認
- ウ 個人情報に関するトラブルの有無
- エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

実施の有無	過去3年間の実績
有	36回(毎月)
有	36回(毎月)
無	
有	3件

【その他トラブルの具体的内容と対応】

- ・強風による落枝の発生等、緊急対応については危機管理マニュアルを参照し適切に対応する。
- ・駐車台数の表示が、実際の台数と異なることが稀にある。これを予防するため、朝方の駐車台数が少ない時間帯に台数チェックを行っている。
- ・駐車場部の施設破損が3件発生した。(過失2件、故意1件)

(9) 今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

- ・にぎわい創出の成果がわかるよう指標を明確化する。
- ・安定して継続的な指定管理業務を行うための収支計画。
- ・城址公園と城址公園駐車場を一体的に管理することが活かされた管理・運営体制の構築に向けた取り組み。

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1) 指定管理者の収支

① 事業計画(指定申請書等提出時点)

	制度導入直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込)
歳入	委託料			78,363	79,261	80,683
	補助金(人件費)					
	利用料金			350	350	350
	合計		0	0	78,713	79,611

歳出	人件費			23,458	24,356	25,778
	管理費			55,255	55,255	55,255
	その他					
	合計		0	0	78,713	79,611

収支	0	0	0	0	0
----	---	---	---	---	---

② 実績

	制度導入直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込)
歳入	委託料			78,528	79,914	80,906
	補助金(人件費)					
	利用料金			3,766	7,647	4,720
	合計		0	0	82,294	87,561

歳出	人件費				23,589	28,295	25,778
	管理費				55,447	51,786	55,128
	その他				3,258	7,480	4,720
	合計		0	0	82,294	87,561	85,626
収支	0	0	0	0	0	0	

③事業計画と実績の収支の差

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
①事業計画の収支			0	0	0
②実績の収支			0	0	0
差(②-①)	0	0	0	0	0

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

--

(2)市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	使用料			31,748	37,588	38,700
	その他			122	3,089	1,067
	委託料 精算等					
	合計			31,870	40,677	39,767

歳出	委託料			78,528	79,914	80,906
	補助金 (人件費)			0	0	0
	修繕費					
	その他					
	合計			78,528	79,914	80,906

収支	0			-46,658	-39,237	-41,139
----	---	--	--	---------	---------	---------

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

新型コロナウイルスのワクチン接種が普及したことによる社会経済活動の活性化や公園や中心市街地での集客イベントの開催等による駐車場需要の回復が見られ、歳入は増加傾向が見られる。一方、歳出は、原油高騰等の影響による光熱費の増加により、指定管理期間当初の計画より増額となった。

7 自主事業の実施状況

(1) 指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 →

有

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

夏のイベント「富山城址公園夏まつり」の定例開催

実施の有無 →

有

実施しなかった場合、その理由

事業②

事業内容

冬のイベント「城址公園ウインターファンタジア」の定例開催

実施の有無 →

無

実施しなかった場合、その理由

令和8年度実施予定

事業③

事業内容

花見期間の露天商管理の改善

実施の有無 →

有

実施しなかった場合、その理由

事業④

事業内容

夏期バーベキューイベントの定例開催

実施の有無 →

無

実施しなかった場合、その理由

令和8年度実施予定

事業⑤

事業内容

婚活イベントの定例開催

実施の有無 →

無

実施しなかった場合、その理由

令和8年度実施予定

事業⑥

事業内容

城址公園フォトコンテストの定例開催

実施の有無

→

無

実施しなかった場合、その理由

令和8年度実施予定

事業⑦

事業内容

移動販売車誘致事業

実施の有無

→

有

実施しなかった場合、その理由

事業⑧

事業内容

コインパーキングの設置、運営

実施の有無

→

有

実施しなかった場合、その理由

事業⑨

事業内容

トレジャーハンター財宝伝説イベント

実施の有無

→

無

実施しなかった場合、その理由

令和8年度実施予定

事業⑩

事業内容

イベント時の簡易カフェ営業

実施の有無

→

有

実施しなかった場合、その理由

(2)指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)で記載した事業は除く。

事業①

事業内容

自動販売機の設置

事業②

事業内容

シクロシティ シェアサイクル事業

(3)自主事業の収支状況

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)	
歳入	自動販売機	68	282	372	720	110
	イベント	1,123	1,143	510	4,044	1,000
	その他	3,298	3,024	2,884	2,883	3,610
	合計	4,489	4,449	3,766	7,647	4,720
	自動販売機	40	68	79	120	73
歳出	イベント	1,997	3,475	1,216	6,467	3,597
	その他	1,512	951	1,962	892	1,050
	合計	3,549	4,494	3,257	7,479	4,720
	収支	940	-45	509	168	0

(4)自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

毎年、売上げに係る収入があることは、利用者の利便性向上に一定の役割を果たしていると思われる。

令和8年度 指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 基礎情報

施設名	くれは山荘		
所管課	建設部公園緑地課		
指定管理始期／終期	R4.4.1	～	R9.3.31
指定管理期間	5年		
公募／非公募	公募		
指定管理者名	NPO法人きんたろう倶楽部		
料金区分	利用料金制		
施設の設置目的 (条例の設置目的)	緑豊かな自然環境の中で、呉羽丘陵フットパスの利活用推進に資する施設として、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与することにより、快適な空間で心地良い時を過ごしてもらえるよう、休憩の場を提供し、市民の福祉の向上及び健康の増進に資するため、安全で快適な環境を提供するため。		

2 利用者数の状況

利用者数及び開館日数

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)
利用者数	不明	678	834	809	849 (人)
開館日数	307	307	306	307	307 (日)

料金収入

年度	R4	R5	R6	R7	R8(見込)
収入額	1,099	1,232	1,090	745	1,126 (千円)

3 利用者数の増加(減少)の理由

呉羽丘陵に関わる最新の知見を、各界の専門家を招いて学ぶ「卓話」の開催回数を増やしたことにより、参加者が増加してきている。

4 収入の増加(減少)の理由

令和6年度までは、NPO法人きんたろう倶楽部が事務所として使用していた分の利用料金を収入に加算していたが、令和7年度からは、収入に加算しないこととしたため、令和7年度の収入が減少している。

5 評価項目

(1) サービス向上に向けた取組み

緑豊かな自然環境の中で、呉羽丘陵フットパスの利活用推進に資する施設として、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与することにより、快適な空間で心地良い時を過ごしてもらえるよう、休憩の場を提供し、市民の福祉の向上及び健康の増進に資するため、安全で快適な環境を提供している。

(2) 利用促進に向けた取組み

施設の利用は、目的に沿った内容であれば、会議・打合せの他、ダンス、健康体操、楽器演奏、展示会等の多目的利用を推進します。利用者のニーズに応じていくことで、利用者の便宜を図り、利用の促進につなげている。

(3) 利用者のニーズ把握や苦情処理への取組み

利用者の意見要望を多方面で受け取り、真摯に改善・反映や実施を積極的に行っている。具体的には、「くれは山荘友の会」を設置し、会のご意見のほか、生の声(電話・アンケート・メール・ヒアリング等)を収集します。月次で集約し、市への報告や検討を行い、価値のあるものに共創を図っている。

(4) 関係団体等との連携

ファミリーパークと連携し、動物に関する卓話・イベント・講座等を開催し、さらなる利用者増を図った。

(5) 施設・設備の維持管理

安全で清潔な施設を目指し、毎日設備点検や清掃を行い、細かくチェックリストに記入している。

(6) 個人情報保護の取組み

「個人情報の保護に関する法律」および「富山市個人情報の保護に関する法律施行条例」に基づき、「くれは山荘個人情報取り扱いマニュアル」を作成し、事務員への周知徹底と定期的な見直し・改善を行い、個人情報保護を徹底している。また、事務局長が個人情報保護責任者としたうえで取り扱い担当者を選任し、個人情報の保管期間、保管方法、および保有情報の消去方法等の措置を実施している。また、抜き打ちチェック等を実施し、管理の徹底を図っている。

(7) 危機管理・安全管理等の取組み

緊急時の対応マニュアルを作成し、消防法に定める防火管理者を選任し、必要に応じて各種訓練を実施している。また事故発生時は被害者の救済・保護を実施し関係機関に連絡を取り、重大な事項は書面で市に報告し指示に従っている。

(8) 所管課の管理運営確認状況

- ア 管理業務報告書等の受理
- イ 市担当職員による現地確認
- ウ 個人情報に関するトラブルの有無
- エ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

実施の有無	過去3年間の実績
有	36件
有	21件
無	
無	

【その他トラブルの具体的内容と対応】

特になし。

(9) 今後の課題及び次回選定時に反映させるべき改善点等

収益の改善を目指すため、市民の皆様が興味のあるイベントの開催等を検討し、参加者数の増加を図る必要がある。

6 指定管理業務に係る収支の推移(単位:千円)

(1)指定管理者の収支

①事業計画(指定申請書等提出時点)

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入						
委託料	0	0	0	0	0	0
補助金 (人件費)	0	0	0	0	0	0
利用料金	6,792	2,746	2,604	2,604	1,750	1,166
合計	6,792	2,746	2,604	2,604	1,750	1,166

歳出						
人件費	3,078	1,900	1,005	1,005	665	555
管理費	3,714	846	1,599	1,599	1,085	611
その他	0	0	0	0	0	0
合計	6,792	2,746	2,604	2,604	1,750	1,166

収支		0	0	0	0	0
----	--	---	---	---	---	---

②実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入						
委託料	0	0	0	0	0	0
補助金 (人件費)	0	0	0	0	0	0
利用料金	7,834	1,099	1,232	1,090	745	1,126
合計	7,834	1,099	1,232	1,090	745	1,126

歳出						
人件費	3,791	797	744	744	744	744
管理費	3,565	1,134	1,323	1,586	1,366	382
その他	0	0	0	0	0	0
合計	7,356	1,931	2,067	2,330	2,110	1,126

収支		-832	-835	-1,240	-1,365	0
----	--	------	------	--------	--------	---

③事業計画と実績の収支の差

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
①事業計画の収支	0	0	0	0	0
②実績の収支	-832	-835	-1,240	-1,365	0
差(②-①)	-832	-835	-1,240	-1,365	0

④事業計画と実績の収支の差についての見解、特記事項等

実績の収支差が減となっていることから、次年度の計画策定時には実績に基づいた、より精緻な計画を作成し、収支差を縮小することが求められる。

(2)市の収支

①実績

	制度導入 直前年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)
歳入	使用料					
	その他					
	委託料 精算等					
	合計		0	0	0	0
該当なし						
歳出	委託料		0	0	0	0
	補助金 (人件費)		0	0	0	0
	修繕費					
	その他					
	合計		0	0	0	0
収支	0	0	0	0	0	0

②市の歳入歳出の増減についての見解、特記事項等

該当なし

7 自主事業の実施状況

(1)指定管理者指定申請書提出時における状況

「様式第5号 自主事業に関する提案書」への記載の有無 →

有

「有」の場合、記載内容及び実際の実施状況

事業①

事業内容

くれは山荘友の会制度

・山荘の利用促進、維持支援の担い手として、くれは山荘の利用者を募集します。また、山荘経営についての意見も伺います。

実施の有無 →

有

事業②

事業内容

くれは山荘 イベントや講座

・緑豊かな自然環境の中で、呉羽丘陵フットパスの利活用推進に資する施設として、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの便宜を供与します。

実施の有無 →

有

事業③**事業内容**

ゆしよく ゆゆ(湯癒)事業

・健康増進を目的として、セラピーや薬膳の提供を進め、山荘設置目的に応じます。

実施の有無 →

有

事業④**事業内容**

飲料水販売事業

・施設を利用される団体・個人への福利厚生の一助として自動販売機・コーヒーマシンを設置します。

実施の有無 →

無

実施しなかった場合、その理由

自動販売機の設置業者を募集したが、設置を希望する事業者がいなかったため。

(2)指定期間開始後に申請のあった自主事業

※上記(1)で記載した事業は除く。

事業①**事業内容**

くれは山荘 卓話の開催

・呉羽丘陵の地活用を促すための市民交流の場として卓話を行う。

(3)自主事業の収支状況

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込)	
歳入	自主事業	438	576	471	416	691
	その他	0	0	0	0	0
	合計	438	576	471	416	691
歳出	自主事業	107	210	429	257	691
	その他	0	0	0	0	0
	合計	107	210	429	257	691
収支	331	366	42	159	0	

(4)自主事業の実施状況についての見解、特記事項等

収支差が増となっていることから、さらなる増を目指すため市民の皆様が興味のあるイベントの開催等を検討し、参加者数の増加を図ることが必要である。